

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年 1月22日

事業所名：調布市子ども発達センター通園事業あゆみ

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> お子さんの特性等を考慮して、グループ分けや場所等の調整をおこない、安全で快適に過ごせるよう配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			<ul style="list-style-type: none"> 職員は基準以上に配置をしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 写真や絵カードを使用して理解しやすい工夫をしていますが、今後さらに改善できるようにしてまいります。 事業所はバリアフリーとなっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 毎日、降園後には消毒と清掃をしています。汚れに気がいたら放置せずに対応するようにしていきたいと考えています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 専門職や臨時職員も含め情報と目標を共有するよう努力していますが、振り返りや検証を深められるようにしたいと考えています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	<ul style="list-style-type: none"> 年に1回、保護者が実施するアンケートを利用してご意向を把握しています。 自己評価は30年度より実施いたします。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか			○	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	<ul style="list-style-type: none"> 31年度は受審する予定になっています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 職員研修は定期的に組み入れています。また、法人として階層別や全体研修など計画的に実施しており、今後も職員の専門性の向上に取り組んでいきたいと考えています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> 保護者とは年4回の面談を実施しております。専門職や相談担当の職員からの視点で見た意見も踏まえて個別支援計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか			○	・家族支援、地域支援に関する項目は現在使用している個別支援計画には載せていないため、必要に応じて検討してまいります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・職員間で計画内容を共有しながら事業を運営していますが、今後はもう少し振り返りの場を増やしていきたいと考えています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・各クラス単位で計画を立て、他のクラスとも情報共有を行い、バランスをとりながらプログラムを作成しております。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・クラスの子どものその時の状況や興味などの様々な活動を設定する等の工夫をしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○			・クラスの集団での課題療育と、専門職が入った個別療育とを組み合わせおこなっています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・勤務形態が様々で、全員でできる時間がとれないため、方法については工夫が必要です。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			・クラスごとにフィードバックをして活動の内容や子どもの様子を振り返る時間を設けています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・毎日、記録をとることを徹底していますが、書式や検証の方法等改善の必要を認識しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しその必要性を判断しているか	○			・保護者との面談を年4回程度実施、日々の家庭とのやり取り、ご本人の様子から判断しています。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・関連する会議に参加して情報を共有しています。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・子ども家庭支援センター、健康推進課等必要に応じて連携を取り合いながら支援をしています。	
23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			・相談担当、主治医、指導医とを取りながら、必要と判断した場合は同行受診を実施したりと可能な限り連携を図っています。	
24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○				

保護者への説明責任等	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・移行支援として、移行先の機関とは引継ぎ等を行い、相互理解に努めています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				・必要の都度連携をしています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○				年中・年長は交流保育を実施しており、交流保育を通じて交流を図っています。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○		・必要に応じて参加していますが、地域的な広がりか課題だと認識しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				・連絡帳、面談、家庭訪問だけでなく、必要に応じて電話等で、こまめに状況を伝え合い、共通理解ができるようにしています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○				・トレーニングプログラムとしては実施していないが、各種療法の勉強会や保護者同士の交流等を通じて支援を行っています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				・利用説明会や利用開始時にくわしく説明しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				・面談の際に説明して同意を得ています。さらにガイドラインに沿った形で児童発達支援計画を理解していきたいと認識しています。
	34	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				・毎日の連絡帳の他、面談や家庭訪問、必要に応じて電話連絡をし、状況の把握に努めています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	○				・保護者主催の父母会を支援し、行事等協力して行っています。保護者会、懇談会各種勉強会の機会を設けて保護者同士の連携を支援しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				・迅速に対応できるよう心がけています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				・毎月、園便り、医務便りや行事等のお知らせをしています。ホームページをもう少し活用できたらと感じています。

	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			・個人情報保護規程を設けたり、リスクマネジメント委員会等を通じて注意をしています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・伝わりやすい方法を探り、対応しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・子ども発達センターが軸となり、センターまつりを地域の方にも開かれた形で行っています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			・毎月、発達センターと合同で避難訓練を実施していますが、実施できていない訓練もあり、見直しの必要性もあると認識しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			・利用開始時に健康調査票に記入してもらい、発作や服薬の状況等聞き取りをして把握に努めています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・現在は対象児がいませんが、該当者がいればマニュアルに基づいて対応する予定です。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ひやりはっと報告、事故報告書を作成し、リスクマネジメント委員会を設置し、事故原因の検証等行っています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止委員会を設置し、虐待防止チェックリストを活用したり、虐待防止研修を実施しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	○			・ガイドラインの内容で職員間で共有をしています。対象事案がある場合は職員間で対応策を検討しています。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。